

2017年度第1回東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会記録

1. 開催日時：2017年10月3日（火）14:00～15:30
2. 場 所：東海大学伊勢原校舎5号館5階会議室
3. 監査委員：委員長：三木 保（東京医科大学医療の質・安全管理学分野 主任教授）
委 員：大塚 達生（弁護士・神奈川総合法律事務所）
：小林 幹夫（伊勢原市保健福祉部長）
：安田 聖栄（医療法人社団あんしん会四谷メディカキューブ理事長）
：千野 修（東海大学医学部附属東京病院副院長）
*山口 育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長）
委員は、別の会議のため欠席
4. 対 応 者：飯田 政弘（病院長）
：大上 研二（副院長/医療監査部長）
：梅澤 博之（事務部長）
：川又 郁夫（診療技術部長/医療機器安全管理責任者）
：大澤 資樹（医療監査部次長）
：矢部 普正（医療監査部次長/医薬品安全管理責任者）
：上村 浩二（医療安全調査課長）
：内田 陽子（医療安全対策課/専任医療安全管理者）
：林 順裕（医薬品安全管理室/医療安全専任薬剤師）
：小澤 豊一（医薬品安全管理室/医療安全専任薬剤師）
：松尾 恵、高木 孝尚、村井 里歌（医療安全対策課/事務局）
5. 監査概要
 - 1) 出席者紹介
 - 2) 監査委員会の成立
 - 3) 監査委員会の目的
 - 4) 病院紹介及び医療安全に係る業務報告について、以下の事項について説明。
 - ・当院の診療データ、施設概要
 - ・医療に係る安全管理のための指針
 - ・医療に係る安全管理部門・組織・構成員
 - ・医療安全管理委員会規程・構成員
 - ・リスクマネージャー規程
 - ・レポート・事例検討会細則
 - ・医療安全対策チーム運用細則
 - ・インシデント/アクシデントレポート提出枚数（2010年度～2016年度）

- ・2016年度インシデント／アクシデントレポートデータ
職種別レポート提出枚数、事象レベル別報告数、事象内容別分類、月別提出枚数（事象レベル別）、項目別／事象レベル割合
 - ・合併症報告件数（2015年5月～2017年8月）
 - ・医師からのレポート提出枚数・提出率（年次的経過）
 - ・予期せぬ急変事例報告数（年度比較）
 - ・医療安全ラウンド
 - ・病院長報告（1回／週）
- 5) 日本私立医科大学協会医療安全ラウンド自己評価表及び平成28年度指摘事項の対応状況について説明。

6. 監査結果

- 1) 医療安全対策が確実に行われており、きちんとした体制が構築されている。取り組みを継続することが望ましい。
- 2) こちらの医療監査部のように監査という体制で医療安全管理が位置づけられていることは素晴らしい。今回の業務報告を受け、事故予防も重要な業務として前向きにきちんと取り組んでいることが確認できた。
- 3) 大きな組織の中で、外部からの指摘事項に対して、真摯に取り組んでいることが確認できた。今後の参考としたい。
- 4) 限られた人員のもと高度かつ複雑な医療や教育を実践している状況下では有害事象の発生リスクは高い。大病院の医療安全を制御する医療監査部がしっかり機能していれば良いと思う。
- 5) 全体的にシステム、管理状態、法律的な面では瑕疵等はなくできている。医療監査部が中心となって、きちんと問題意識を持ち、取り組んでいることは評価できる。今後益々充実した医療安全の推進に努めることを薦める。

7. その他：

- 1) 2017年度第2回東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会の監査項目
 - ・第1回は、フレームワークを中心に報告を受け、病院全体の医療安全管理体制を把握したので、第2回は2017年度に起こった事象レベル3b以上・ヒヤリハット事象の中から教訓的な事象についての具体的な取り組みや医療安全対策チームの活動について報告を受けたい。
 - その他、ラウンドの実施等については各委員に確認する。
- 2) 第2回の開催時期
 - ・2018年2月下旬～3月に開催予定

以上